

況をお知らせします

令和2年度養老町一般会計および特別会計の歳入歳出決算が、令和3年第3回養老町議会定例会において認定されましたので、決算の概要をお知らせします。

一般会計の決算は、歳入165億2,567万6千円、歳出158億5,331万4千円となり、前年度に比べ、歳入が45億1,342万8千円の増、歳出が41億7,645万6千円の増となりました。また、特別会計の決算の合計は、歳入74億5,357万1千円、歳出65億4,557万4千円で、前年度に比べ、歳入が2億2,063万4千円の減、歳出が6億9,948万円の減となりました。

令和2年度 養老町歳入歳出決算総括表 (単位：千円)

会 計 名		歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳入歳出差引額	翌年度繰越額	うち翌年度へ繰り越すべき財源	実 質 収 支 額
一 般 会 計		16,525,676	15,853,314	672,362	152,815	15,659	656,703
特 別 会 計	国民健康保険	3,809,273	3,204,063	605,210	0	0	605,210
	簡 易 水 道	53,980	23,796	30,184	0	0	30,184
	食肉事業センター	137,172	132,452	4,720	0	0	4,720
	住宅新築資金等貸付	71,427	2,966	68,461	0	0	68,461
	農業集落排水事業	32,262	30,109	2,153	0	0	2,153
	介護保険事業	2,971,076	2,777,051	194,025	0	0	194,025
	介護サービス事業	17,300	15,831	1,469	0	0	1,469
	後期高齢者医療	361,081	359,306	1,775	0	0	1,775
	小 計	7,453,571	6,545,574	907,997	0	0	907,997
合 計		23,979,247	22,398,888	1,580,359	152,815	15,659	1,564,700

(注) 千円未満を四捨五入しているため、積み上げと合計が一致しない場合があります。
(注) 公共下水道事業特別会計は、公営企業会計法を令和2年4月1日に適用したことにより、公共下水道事業会計となりました。

令和2年度 健全化判断比率および資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、令和2年度健全化判断比率および資金不足比率を算定しましたので公表します。

●健全化判断比率

健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準を下回っており、財政の健全性は保たれていると判断できます。
(単位：％)

項 目	健全化判断比率	参 考	
		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	14.06	20.00
連結実質赤字比率	—	19.06	30.00
実質公債費比率	7.4	25.0	35.0
将来負担比率	71.2	350.0	

※実質赤字額及び連結実質赤字額がないため「—」と表示しています。

●資金不足比率

いずれの事業も資金不足額が生じていないことから、経営の健全性は保たれていると判断できます。
(単位：％)

会 計 名	資金不足比率	参 考
簡 易 水 道 特 別 会 計	—	20.0
食肉事業センター特別会計	—	
農業集落排水事業特別会計	—	

※資金不足額がないため「—」と表示しています。

用語の解説

- 実 質 赤 字 比 率……一般会計などに生じている赤字の大きさを、標準財政規模(町の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模)に対する割合で表したものの。
- 連結実質赤字比率……上水道や下水道など公営企業を含む全会計に生じている赤字の大きさを、標準財政規模に対する割合で表したものの。
- 実質公債費比率……町の借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、標準財政規模に対する割合で表したものの。
- 将来負担比率……町の借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、標準財政規模に対する割合で表したものの。
- 資 金 不 足 比 率……公営企業の資金不足を、料金収入などの規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものの。

※より詳しい内容を町ホームページに掲載していますのでご覧ください。